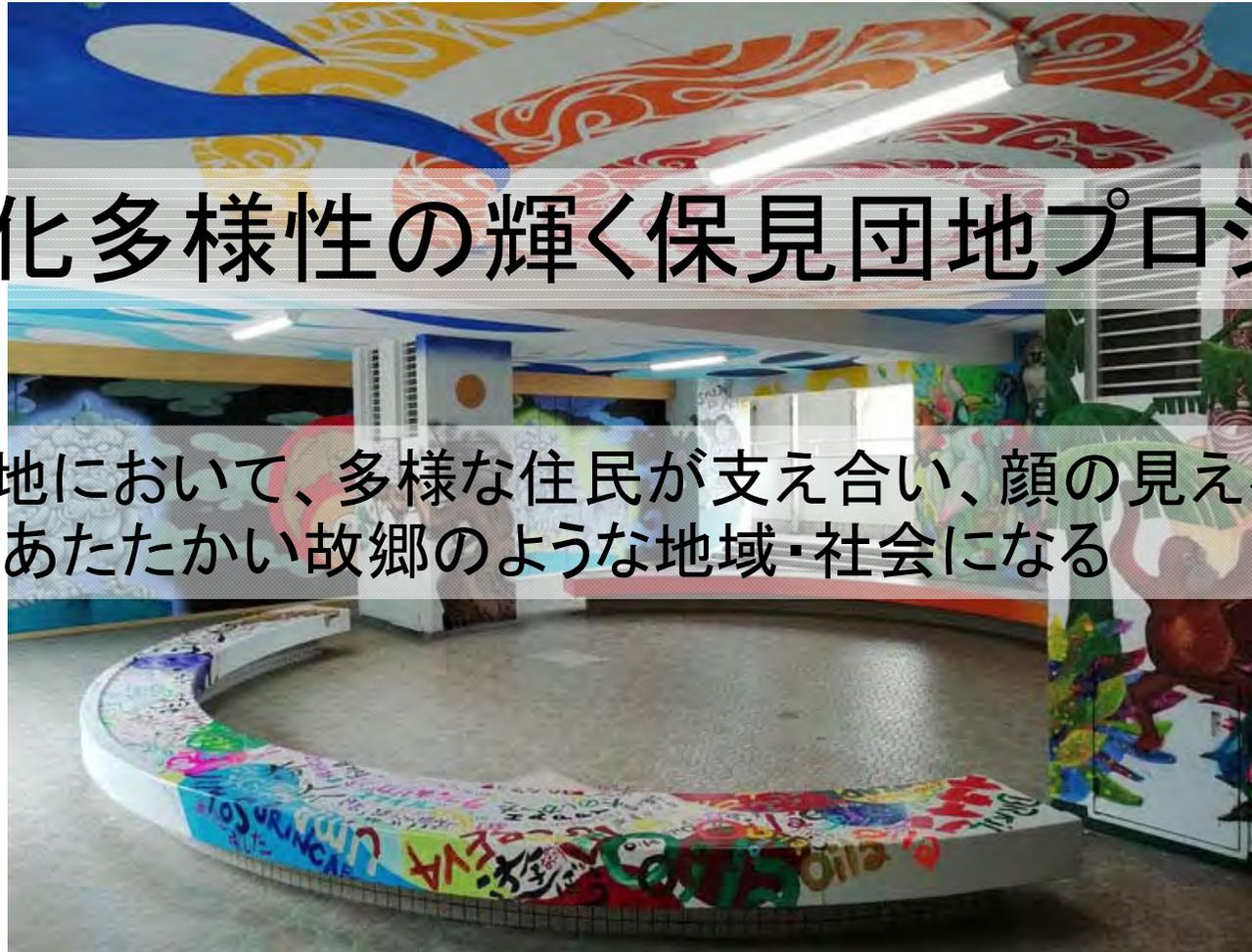


多文化多様性の輝く保見団地プロジェクト

保見団地において、多様な住民が支え合い、顔の見える関係が息づく、あたたかい故郷のような地域・社会になる



【構成団体】

県営保見自治区・NPOトルシーダ・中京大学・外国人との共生を考える会・愛知県県営住宅自治会連絡協議会

課題

- 保見団地は、豊田市の北西部に位置する大型団地で、令和元年現在、保見ヶ丘地区の人口7,296名のうち、日本人は44.1%、ブラジル人は49.3%、その他にも、ペルー、ベトナム、中国などの方々が暮らしている。
- 保見団地は1990年に入管法が改正されると、近隣の自動車関連企業で働くために、日系人が集まるようになった。それ以降の保見団地では、ゴミ出しや騒音、生活習慣をめぐるトラブルや事件があったため、自治体やNGO、ボランティア団体による「共生」に向けた教育、交流促進活動が行われるようになった。
- 一方、2008年のリーマンショックで、多くの住民が派遣切りに合い、失業した。不安定な雇用条件で働く外国人住民は、国籍に関わらず、今後も厳しい状況に立たされる可能性がある。
- そうした中、保見団地の再生に向け、県住協では、県営保見自治区の役員たちと議論を進めてきたが、イベントをやるうにも外国人が集まる見込みもなく、ゴミの分別の指導や粗大ごみの出し方などを掲示しても、マナーが悪く、なかなか日本の習慣に馴染めず、一斉に集めて何かをやるという試みはあまり成功したことがなかった。
- しかしながら、昨年度(2019年度)、保見団地では、トルシーダが中心になって、「アート力で、ともに歩む」というテーマを掲げ、県住協や中京大学もメンバーに加わって、団地の外国人を中心とした住民とアートを通して交流を図る「HOMIアートプロジェクト」という試みを行なった。
- この取組によって、保見団地において、県住宅供給公社だけでなく、愛知県や豊田市といった行政や在名古屋ブラジル総領事館との協働・連携ができつつある。

チーム構成のねらい

- NPO法人トルシーダは保見団地を活動拠点として、外国人の子どもたちの支援を行なっている。
 - 中京大学豊田キャンパスは保見団地に近く、団地でのイベントやトルシーダの活動にも関わっている。
 - 外国人との共生を考える会は、西尾市を中心に顔の見える関係づくりの活動をしている。
 - 県営保見自治区は、これらの団体の協力を得ながら、保見団地のまちづくりの当事者として住民を巻き込んだ取組を行なっている。
 - 愛知県県営住宅自治会連絡協議会は、こうした保見団地での様々な取組を後押ししている。
- ⇒そこで、保見団地を多文化多様性の輝く団地にするために、この5団体がチームを結成した。

県営保見自治区



◇一斉清掃

月に1度、自治区役員、住民、学生が
ゴミ拾いや分別を行っている。



◇粗大ごみ収集

不法投棄された粗大ごみを回収する。

県営保見自治区



◇自治区役員と学生で駐輪場に壁を設置。

◇階段下のフェンス取り付け
ゴミの投棄を防ぐために取り付けたが、
何者かに犬小屋にされてしまった。



NPO法人トルシーダ 地域住民にプロジェクトを知ってもらう



特別定額給付金申請のための支援（100人）5月31日



七夕の会（70人）7月6日

コロナによる生活困窮を把握

→ お米、卵の配布

NPO法人トルシーダ地域とプロジェクトを繋げるための住民参加の方法を考える



寄付の卵でフードパントリー×エコキャップ集め
毎週金曜日朝7時～



寄付のアベノマスク×アートワークショップ 12月19日

住民の主体的な参加を図り、住環境改善や感染拡大防止を伝えたい・・・



中京大学

- 子ども食堂
毎週金曜日あさ7時OPEN
豊田市初の朝ごはん子ども食堂



ボードゲーム大会 (2020/12/2 A.M.)



スポーツ交流会 (2020/12/26 P.M.)



中京大学

- 高齢者サロン
全ての高齢者のお宅をまわり、
参加者を募った。

風呂敷講座(2020/12/23)

地域の国際化セミナーin西尾2021

＝コロナ禍での多言語防災＝

西尾市では、隣に外国人が住んでいるのは見慣れた光景になりました。自然災害（台風・豪雨・地震）の多い日本で暮らす外国籍住民の皆さんと災害時の助け合い・支え合いについて学びませんか。昨年からのコロナ禍に於ける災害時支援については、多言語情報発信や多言語対応が防災・減災につながるであろう。助け合うことの大切さを学ぶ機会にしませんか。

開催日：令和3年2月6日（土）13：30～15：30

形式：オンラインZOOM開催

【参加方法】

①以下のアドレスから入る。

<https://us02web.zoom.us/j/89532568733>

②ZOOMアプリの「ミーティングに参加する」を選びID入力欄に

「895 3256 8733」と入力する。

※①②いずれの方法でも参加することができます。ただし、参加承認まで多少時間がかかる場合がありますので、ご了承ください。

プログラム・進行：大橋充人（タブマネ）

13：30～13：40

主催者あいさつ・来賓あいさつ

13：40～14：10

講話：「愛知県警の多文化共生への取り組み」

14：10～14：40

・愛知県＆西尾市の多文化共生社会づくり

愛知県多文化共生推進室

西尾市地域つながり課

14：40～15：20

ディスカッション

「外国人住民も防災力・地域力です」

コーディネーター：丹下厚史氏

15：20～15：30 まとめ



「愛知県警の
多文化共生への取り組み」

講話：上岡寛幸氏
（愛知県警国際警察センター）

ディスカッション
「外国人住民も防災力・地域力です」

◆話題提供者
三浦 智弘氏（桜町自主防災会）
久保田芳道氏（一色防災ネットワーク）
松岡キヨシ氏（株）マルサン）
横山カズオ氏（緑町住宅自治会副会長）

◆コーディネーター
丹下厚史氏（名古屋国際センター）

外国人相談窓口

ポルトガル語、ベトナム語の
通訳を配置



ポケットークの導入

- ・市役所
- ・小中学校
- ・市民病院など



テレビ電話通訳システムの導入

13言語（ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、インドネシア語、英語、中国語、韓国語、フィリピン語、タイ語、ネパール語ヒンディー語、ロシア語、フランス語）



市役所窓口通訳の配置

- ・ポルトガル語... 6名
- ・スペイン語、英語... 1名
- ・ベトナム語... 1名 **【2020年度から】**

外国人との共生を考える会

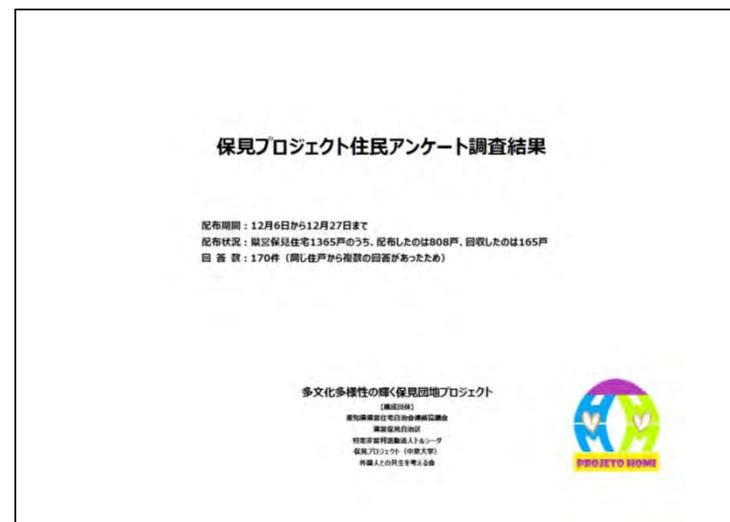
今年度はコロナ禍のため、外国人の防災勉強会は来年度に延期

⇒来年度の防災活動への準備

愛知県県営住宅自治会連絡協議会



- ・チーム会議
- ・調査検討会議
- ・将来ビジョン検討会議
- ・コミュニティビジネス検討会議
- ・関係者会議



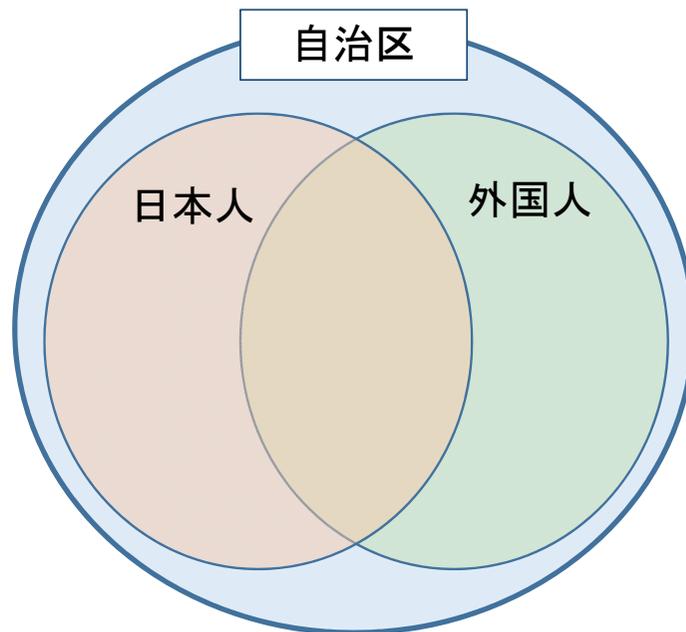
←リサイクル工房見学

スモールビジネス講座→



わがチームの課題

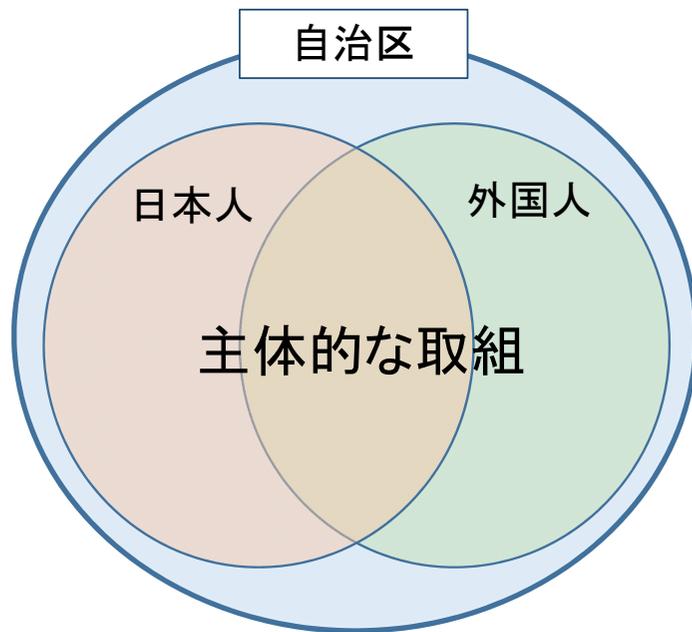
プロジェクトチームと住民との関係



今後への展望

団地のルールを守る

住民の理解を得る



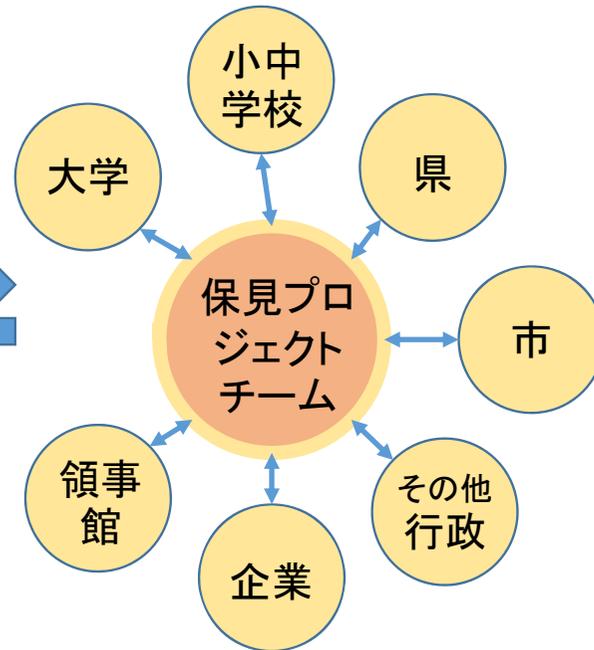
住民の意向に反していないか？

ニーズ理解(了承)



協働サポート
つなぎ

住民の主体的な取組のために
なっているか？



多文化多様性が輝く保見プロジェクト